

青森県景気ウォッチャー調査特別調査（令和3年10月期）

新型コロナウイルス感染症による県内の景気への影響に関する調査について

1. 概要

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、国内外の社会経済や、本県の地域経済及び県民生活に大きな影響を与えていることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症が県内の景気に及ぼす影響について、青森県景気ウォッチャーを対象に特別調査を行った。

2. 調査期間

令和3年10月1日～10月27日 回答率 100%

3. 調査事項

設問	回答方法
①新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響に対する判断	5段階（非常に影響があった／どちらかといえば影響があった／どちらとも言えない／どちらかといえば影響がなかった／まったく影響がなかった）
①の理由	自由記述
②新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響に対する判断	5段階（非常に影響がある／どちらかといえば影響がある／どちらとも言えない／どちらかといえば影響がない／まったく影響がない）
②の理由	自由記述

令和3年11月

青森県企画政策部統計分析課

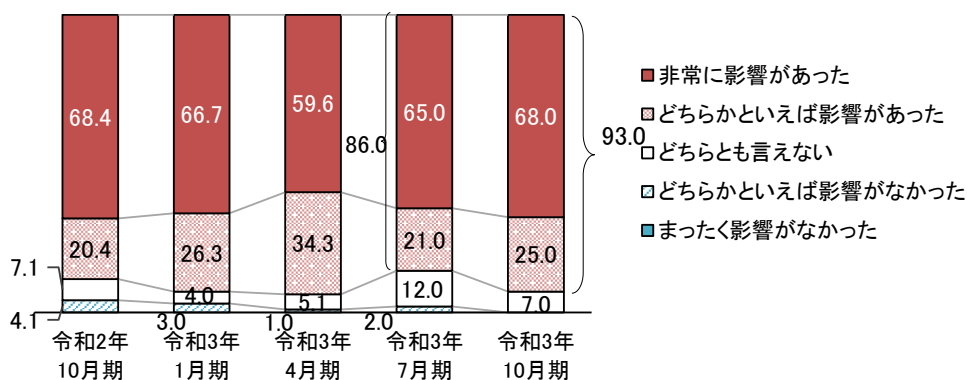
(1) 新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響

① 県全体の動向

県全体をみると、「非常に影響があった」との回答が68.0%と最も多く、「どちらかといえば影響があった」との回答と合わせると93.0%となった。「どちらとも言えない」との回答は7.0%、「どちらかといえば影響がなかった」、「まったく影響がなかった」との回答はなかった。

前期調査と比べると、「非常に影響があった」「どちらかといえば影響があった」との回答が合わせて7.0ポイント上昇した。

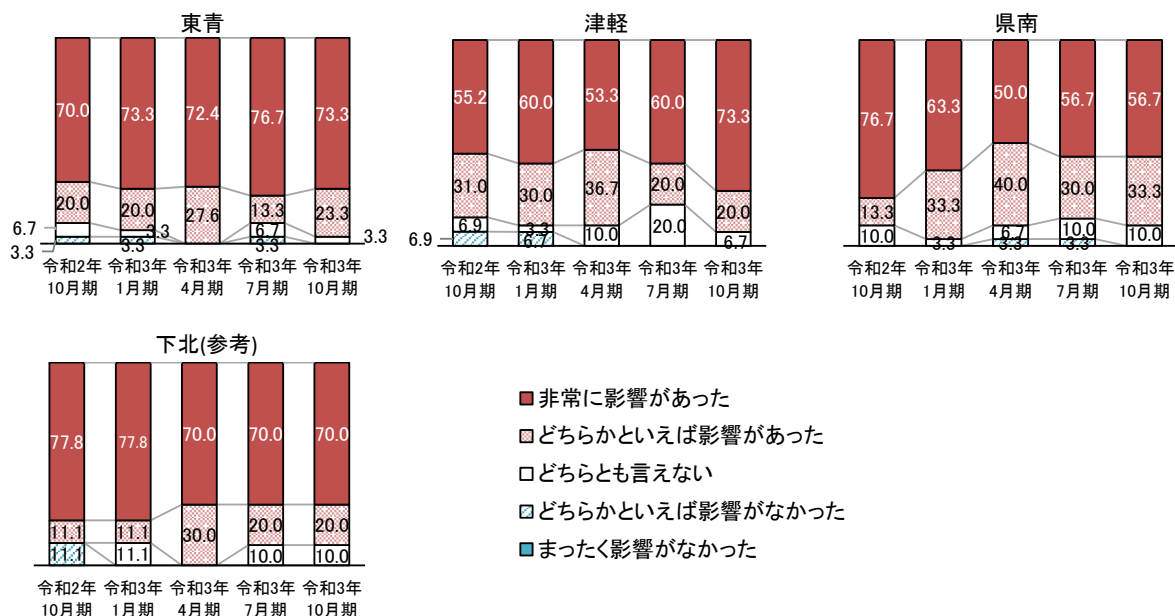
新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響
回答別構成比(県全体)(%)



② 地区別の動向 (※下北地区については、サンプル数が少ないため参考値)

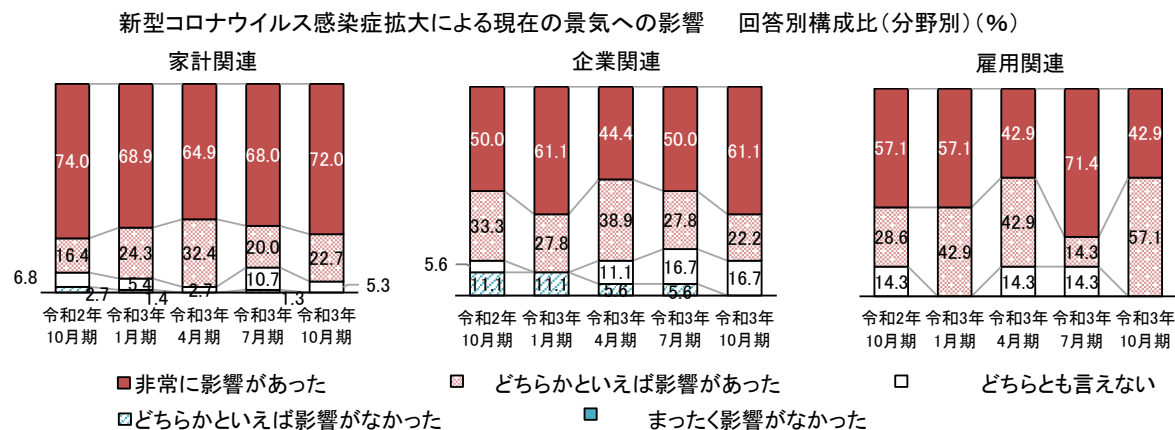
地区別にみると、全地区とも、「非常に影響があった」との回答が最も多くなっており、「どちらかといえば影響があった」と合わせた割合は、下北を除く地域で上昇した。

新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響 回答別構成比(地区別)(%)

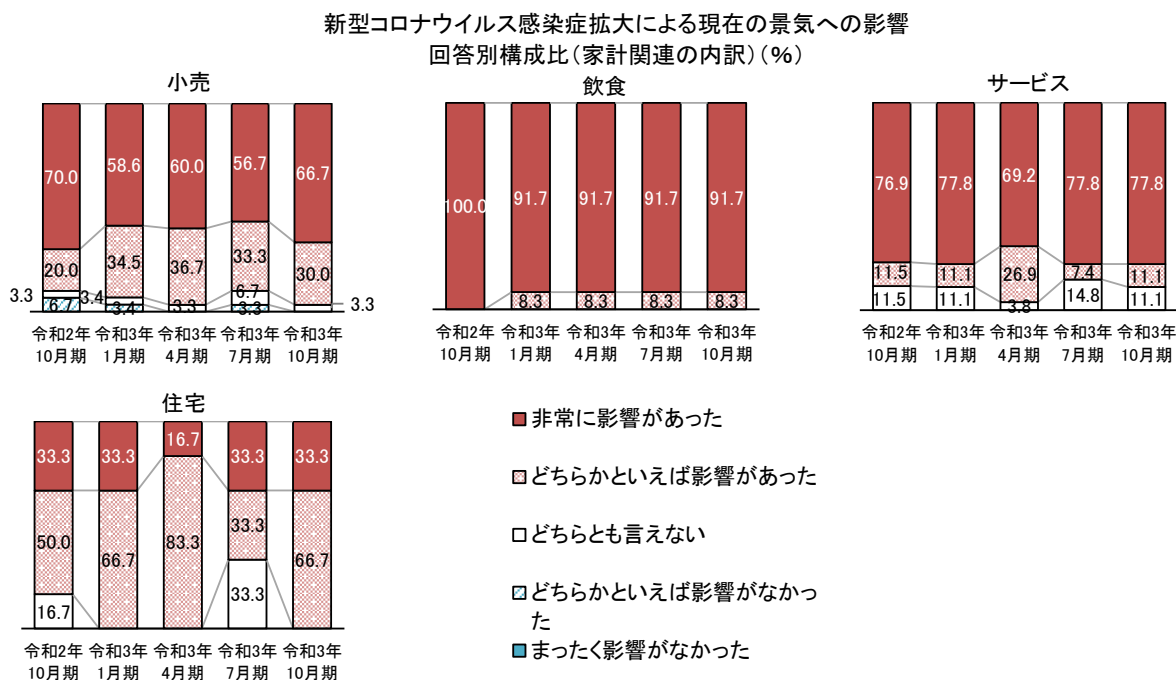


③ 分野別の動向

分野別にみると、家計関連、企業関連で「非常に影響があった」との回答が最も多くなっており、雇用関連は「どちらかと言えば影響があった」と合わせた割合は100%となった。



家計関連の内訳をみると、住宅を除き、「非常に影響があった」との回答が多く、特に飲食では9割を超える結果となった。



④ 判断理由

判断理由では、「影響があった」理由として、「8月のコロナ感染者増にともない、飲食店が休業状態になり売上減、量販店等も昨年に比べて売上に影響が出ている(卸売業=東青)」など、8月中旬以降の新型コロナ感染者急増が大きく影響を与えたという声が多い。その他に、イベントの中止や9月の県独自の感染防止対策による人出や売上の減少を挙げる声もあった。「どちらとも言えない」理由としては、「旅行や出張の客が減り、ガソリンは減少したが、巣ごもりのおかげで灯油がその分増えた(ガソリンスタンド=下北)」、「他業種に比べて建設業界は恵まれていると感じる(建設=東青)」など、業種によって影響に差があるとの声がみられた。

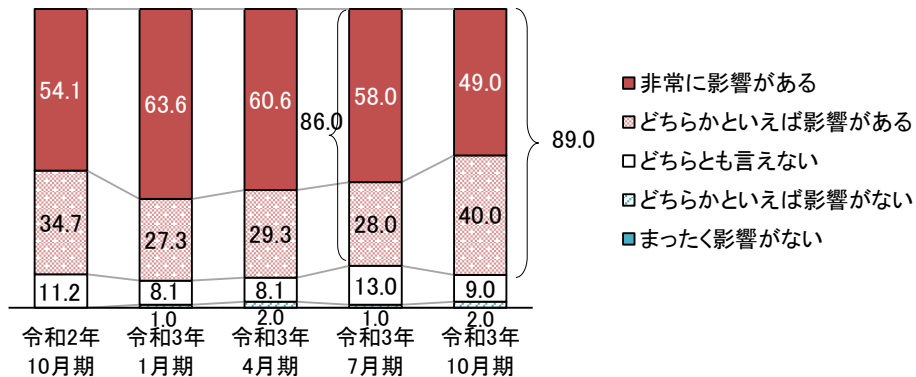
(2) 新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響

① 県全体の動向

県全体をみると、「非常に影響がある」との回答が49.0%と最も多く、「どちらかといえば影響がある」との回答と合わせると89.0%となった。「どちらとも言えない」との回答は9.0%、「どちらかといえば影響がない」との回答は2.0%、「まったく影響がない」との回答はなかった。

前期調査と比べると、「非常に影響がある」「どちらかといえば影響がある」との回答が合わせて3.0ポイント上昇した。

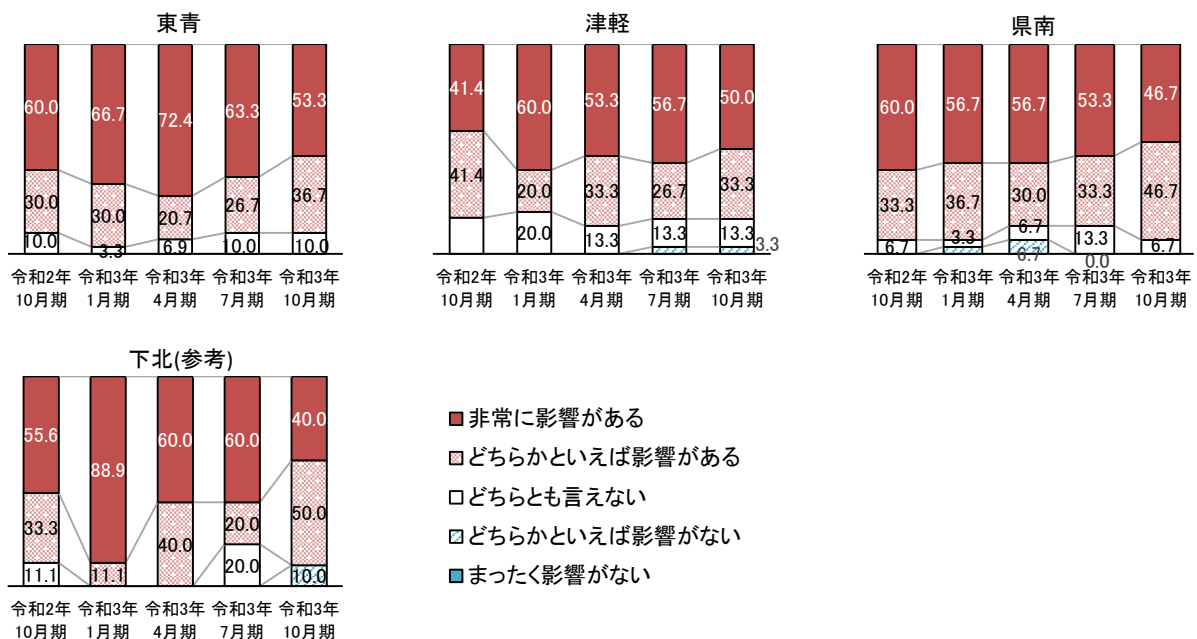
新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(県全体)(%)



② 地区別の動向 (※下北地区については、サンプル数が少ないため参考値)

地区別にみると、全地区において「非常に影響がある」との回答割合が前期調査と比べて低下した。一方で「どちらかといえば影響がある」との回答を合わせると、その割合は横ばいもしくは上昇した。

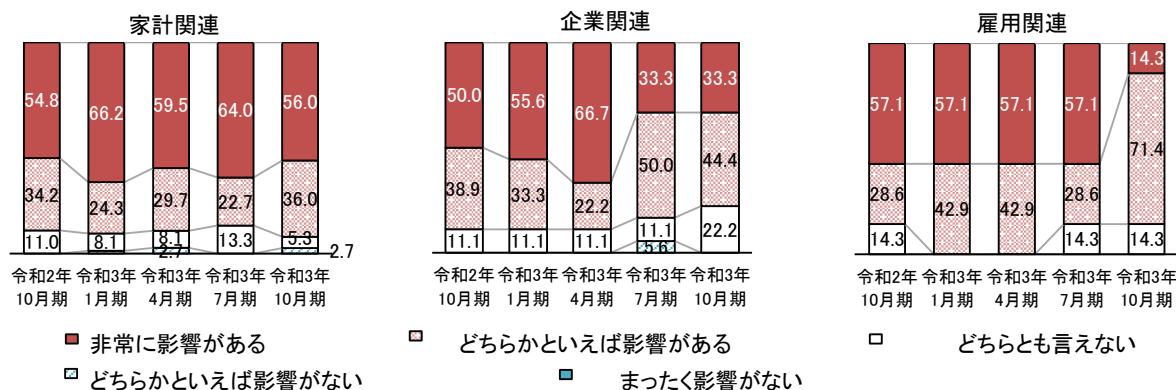
新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(地区別)(%)



③ 分野別の動向

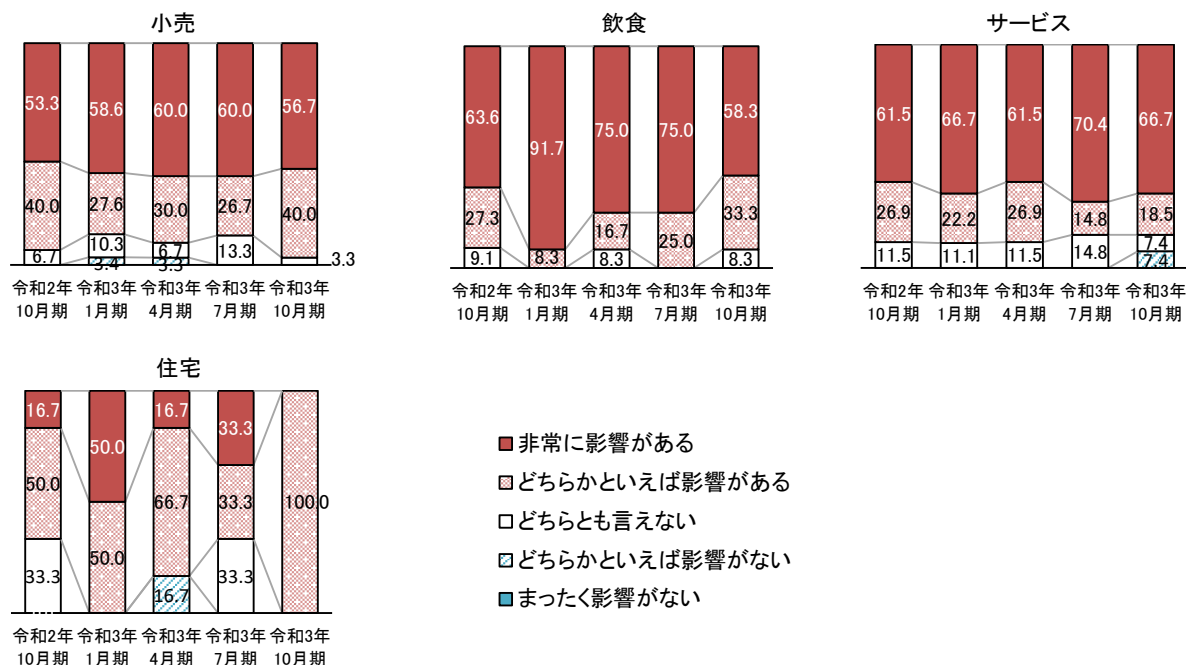
分野別にみると、家計関連、雇用関連で「非常に影響がある」、「どちらかといえば影響がある」の回答が80%を上回っている一方で、企業関連では80%を下回っている。

新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(分野別)(%)



家計関連の内訳をみると、いずれも「非常に影響がある」の回答割合が前期に比べて低下している。

新型コロナウイルス感染症による3カ月後の景気への影響
回答別構成比(家計関連の内訳)(%)



④ 判断理由

判断理由では、「影響がある」理由として、「ワクチンの接種率もあがり、全国的に制限も解除されたが、ブレークスルー感染や第6波などにより今まで以上に敏感になっている気がする(飲料品製造=県南)」など、ワクチン接種が進んだことや全国の制限解除による景気の上向きを期待する一方で、ブレークスルー感染や感染再拡大による第6波を懸念する声があった。また、宴会等を避ける風潮や生活スタイルの変化など現在の生活様式に慣れたことによる影響でコロナ前のように戻らないだろうという声もあった。「どちらとも言えない」理由としては、「第6波の影響次第(広告・デザイン=東青)」や「第6波がやって来るとのことなので、予想がわからない(観光名所等=県南)」など、新型コロナ再拡大による第6波への不安から先行きが不透明であるとの声があった。

(3) 判断理由

① 新型コロナウイルス感染症拡大による現在の景気への影響

現在の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	東青	ガソリンスタンド	県の施設の休館等の影響で、レンタカーや企業の社有車の動きが悪く、売上が伸びなかった。
			商店街	緊急事態宣言などにより、活動が制限され、在宅時間が増えたこと等により、動く商品種類等に変化が見られたこと。海外との物流が滞ったことなどから、商品の入荷などに影響が出ている。
			スーパー	県の緊急対策は効果があったのか、検証が必要。
			タクシー	残念ながら、感染者の増減状況が良くなったかと一安心すれば、また次の感染拡大の波が押し寄せてきた去年と同じことの繰り返しの結果です。それにしても2年連続で稼ぎ時となる夏祭りの中止は影響が大きすぎ、そして各種行事の中止や飲食店の不況の影響もまともに受けてしまいました。経済がストップしている期間が余りにも長過ぎます。
			レストラン	ワクチン接種後に動くのかなと思っていたが、まだまだ動かない。地元のお客様は非常に慎重だと思うが、反対に県外からのお客様はあまり警戒していないのか、活発である。
			衣料専門店	2年弱の行動制限により、ビジネスと商店街活動は深刻な状態です。
			一般飲食店	青森の感染状況が思いのほか良くならないのがあると思います。10月に入って宣言が解除されたとはいえ、ウイルスが無くなったわけでもないですし、今までの自粛生活に慣れてしまった方もいるでしょうし、仕事以外(休日など)の過ごし方を、わざわざ繁華街へ行こうと思わなくなった方もいるでしょう。何らかのキッカケがないとにぎわいはもどってこないのかと思います。
			一般小売店	県や市の管理する各観光施設等の休館など、9月の青森県独自のコロナ感染防止策が売上の減退に大きく影響した。
			卸売業	8月のコロナ感染者増にともない、青森市内本町等の飲食店が休業状態になり売上減、量販店等も昨年に比べて売上に影響が出ている企業もある。
			家電量販店	新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されると、対象地域外の当社のエリアでも外出自粛による影響を受けているためです。
			観光型ホテル・旅館	9月の感染防止パッケージのインパクトは大きく、極めて厳しい状況であった。
			観光名所等	休館した。
			都市型ホテル	客数、売上減。
			百貨店	営業時間の短縮。従業員の休業増/取引先社員の派遣停止や時短勤務増。客数減、取引先の破たん、商品の納品遅れ。
			スナック	お客様が毎日ゼロ、いくら来たくても仕方がない事は理解できますが、本当に辛く、苦しく大変でした。まだこんな状況が続くのでしょうか。
			競輪場	職場が9月中、コロナの影響で閉鎖された。

現在の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	東青	乗用車販売	海外でのロックダウンの影響で自動車部品の輸入が出来ず、車両の生産がストップしてお客様への納期に大幅な遅れがでてしまい、お客様に多大なご迷惑をおかけしているため。また建築関係の方の話を聞くと、木材等も海外製品が入ってこず、国産品の値段が上がっており困っていると聞いたため。
			レストラン	さくら祭り・ねぷた祭り等の観光客がくる目玉のものがない事と、学生の大会等の中止に伴い、宿泊客が大幅に減少した。宴会の利用客がほとんどいなかった。
		津軽	一般小売店	昨年3月から今年2月までの1年間と今年3月～6月までの4ヶ月の前年比は80%台であることから。
			観光名所等	昨年来、最悪の経営状況が続いている。利用者は「わナンバー」や他県のオートバイの軍団等多数見受けられる。非常事態宣言や蔓延防止等を気にしていない観光客がちらほら見受けられる。愛知県や群馬県、就労外人、大使館、三沢などの外客も来客。
			商店街	GW以降コロナ感染者の増加が多すぎる。
			都市型ホテル	当社は宿泊・宴会、レストランを柱としているが、その全てに大打撃を受けている。
			コンビニ	イベントなどの中止が相次いだ為。
			設計事務所	福祉施設、特に老人ホーム等関係の事務についてはスローダウンしたままです。
			住宅建設販売	ウッドショック、アイアンショックから、お客様の予算立てや計画立てが大幅にズレることが多く、打合せに時間を取られ、時期の先延ばしや計画そのものを控えるお客様も多いから。
			衣料専門店	結婚式、出張が少なくなったため、スーツが売れない。
			パチンコ	娯楽業なので。
			美容院	コロナ感染症は経済活動に危機的な影響を与えた。
		県南	百貨店	店の売上減少。特に衣料品関連の売上減少は、外出控えの影響によるものと考えられる。（前年比60%台）
			スナック	店を休んだし、開店しても全然人が歩いていなかった。
			タクシー	兎にも角にも市民が何処に行ってしまったかと思うほど居なくなった。
			衣料専門店	コロナ感染者の動向による来館客数の減少。
			卸売業	飲食店にも商品を納めているが、営業していないお店が多く、注文も少なく大変です。
			ガソリンスタンド	往来、消費行動の停滞により、経済活動が抑制され、販売の減少傾向が続いている。
			レストラン	緊急事態宣言が明けてから、少しずつお客様が増えてきている。県外のお客様が多い。まだまだ県内の人達で、夜の市街へ来店する人の数は少ない。
			商店街	外食、買い物、レジャーに出かける頻度が大きく下がった。
			一般飲食店	やはり、地元でのクラスターが出る前は何とか維持できたが、どんどんクラスターが出てからは、最悪の業態です。
		下北	コンビニ	外出しない。
			都市型ホテル	今までで、売り上げは70%の落ち込みです。何とか堪えて来ましたが、この後コロナの第6波がくれば、正直かなりキツイです。
			タクシー	人の動きがないので。

現在の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響があった	家計	下北	レストラン	宴会需要が激減した為。
			スーパー	ショートショッピングの徹底、混雑を避けての午前中の買い物、単独での買い物が主体でなかなか高額品の購入にならない。
	企業	東青	経営コンサルタント	首都圏の緊急事態宣言が9月30日で解除され、青森県の緊急対策による県所有施設の休館等も同日で終了している。しかし、それまでの間は自粛ムードが増加し、景気に影響があった。
			広告・デザイン	広告、プロモーション展開等のイベントの中止。
			食料品製造	飲食店の閉店や事業縮小、販売先が少なくなっている。それでも必要とする販売先があるので製造して売りたいが、原料となる物の入荷がないのではどうする事も出来ない。補助をしてもらえないところはつらい状況が続くばかりです。
		津軽	広告・デザイン	コロナ禍中では以前の様な事業計画は抑制され全てが様子見となり、物件数、仕事量が極端に減少されている。
			経営コンサルタント	飲食店、冠婚葬祭に関する業種、旅行・観光関係の業種の影響は多大だ。雇用調整助成金で解雇を回避し、何とか雇用を維持出来ている関与先が何件もある。各種会合や月例での定例会（商工会議所関係など）は例会自粛もしくは例会のみで会食無しなどが続いており、会場となっているホテル関係も売り上げにつながらない。駅待ちや走っているタクシーもとても少ない。
			食料品製造	飲食業はもちろん、それに関連する（酒、米、クリーニング、洋服、くつ・カバン、理容業等）ありとあらゆる業界に影響していると思う。
		県南	飲料品製造	感染者の増減により街中の人出や、団体の会合などが敏感に反応を続けています。アルコールの消費動向は相変わらず下がったまま、商売として昨年より厳しい状況が続いています。
			広告・デザイン	飲食店や観光(タクシーや代行含む)も、もちろん大変なのは理解していますが、我々の様な広告、イベント業も、"中止"、"自粛"と、売上が70%減で、会社を維持できるかもわからない。
			建設	せっかく日本の経済活動が回復してきても、世界での感染影響がまだ残っており、自動車部品、半導体、トイレ部材などの様々な部材の調達に困難になっていたり、輸入木材、鉄などが高騰、小麦などの食品も値上げと経済活動復活に水をさしている面がある。
			経営コンサルタント	首都圏などの緊急事態宣言の延長に次ぐ再延長、また、仙台、福島での蔓延防止措置など人流が制限された期間が長引きすぎた。自分の周りでも飲食業、小売業（食品以外）は、壊滅状態である。夜8時以降の経済活動がまるっきり止まっております。これでは、1日の経済活動のうち6時間が停止しています。日本の経済の25%が停止しているのです。
		下北	食料品製造	去年よりは悪い事はないだろうと考えていたが、そうではない。悪いです。
	雇用	東青	新聞社求人広告	感染予防、感染拡大防止のための移動制限による経済活動の停滞。
		津軽	新聞社求人広告	昨年からのコロナで事業活動が出来ないでいる。
どちらかといえば影響があった	家計	東青	旅行代理店	仕事が激減し、売り上げ減少。
			コンビニ	イベントホールが閉まっていることやホテル利用客に変化。

現在の影響	分野	地区	業種	理由
どちらかといえ ば影響があった	家計	東青	住宅建設販売	建築資材の不足、納期末定商品の増加、ウッドショックによる木材価格高騰、その他便乗値上げのような建築資材の高騰。
			設計事務所	通常であれば身の回りの話題や仕事の情報でコミュニケーションが取れるのに、人と接する機会が極めて少ない。
			美容院	出歩く事を少なくするという事は大きいと思います。
		津軽	ガソリンスタンド	観光事業の落ち込み、行動自粛等により販売数量落ち込みとなったと考える。
		県南	住宅建設販売	減少すると思われた受注が逆に増加した。
			設計事務所	対策の為のコストは上がるが、単価は下がっている。
			コンビニ	客数の減少が大きく、客単価増の傾向がみられた。
			スーパー	内食、衛生関連の需要。
		下北	一般飲食店	お昼の入りはまあまあもどりつつありますが、密になれない為宴会も出来ないこともあり、一組もこない日もあります。その為お給料も遅れたりしています。
	企業	津軽	飲料品製造	旅行が少ないため、駅等の自販機の売上が減少。
		県南	紙・パルプ製造	テレワーク拡大によるペーパーレス化の加速。観光事業等の停滞によるパンフレット等の需要減。輸入資材・原材料の高騰。
			電気機械製造	来県、来社する人が大幅に減ったままです。Web会議も良い面はあるが、やはり会っての話は大切。先々に影響が心配です。
	雇用	東青	人材派遣	コロナウイルス対策関連の業務が増えたため。
		津軽	人材派遣	訪問介護系の利用者が感染を警戒し、サービスを控える状況が続いている。
		県南	新聞社求人広告	県内の感染拡大でイベントの中止や延期を余儀なくされた。
どちらとも言え ない	家計	県南	観光名所等	特に大きな変化はないと思われる。
			美容院	昨年同月の売り上げ比較であまり変化を感じられなかった。店販品はあまり動かなかった。
		下北	ガソリンスタンド	旅行や出張の客が減り、ガソリンは減少したが、巣籠もりが増えたせい か、灯油はその分増えた感じでした。他の業界に比べると、大きく数量 が落ちたわけではないので、恵まれていると思います。
	企業	東青	建設	他業種に比べれば、建設業界は恵まれていると感じます。但し、世界的 な流れの中ではウッドショック(木材不足)を始めとする資材不足と高騰 が起こっています。
		津軽	建設	コロナ感染者が減少して、このまま続けてほしい、と思ったらまたクラ スターが発生、残念。
		電気機械製造	スマートフォン等の販売はどちらかと言えば増えている傾向だが、原材 料等の入手が困難となっており生産にも少なからず影響が出ている。	

② 新型コロナウイルス感染症による今後の景気への影響

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	東青	スーパー	一筋縄ではいかないと思いますが、新型コロナウイルスワクチンの接種率が向上することで、景気回復を期待します。
			タクシー	人の動きがすべてといっても過言ではないこの職種において、年末の人の動きの如何が大きく影響します。コロナの感染状況も青森県は他の県に比べてあまり良い状態とは言えない中では、何もかもがコロナの状況次第なのではないでしょうか。
			一般飲食店	コロナ以前、外食をなさらなかった方は余計行かなくなるでしょうし、色々なものが値上げ、又は制限が多い飲食店で外食が面倒だと、ますます遠のくお客さんもいると思います。いずれにしても元に戻るのには時間がかかるように思いますが、政府、県など経済の回復に向けて政策を打ち出してくれることで状況も変わるとしますので、前向きに色々取り組みたいです。
			一般小売店	新型コロナ新規感染者減、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の全面解除、各観光地や夜の街の賑わい復活のマスコミ報道などで、消費者のマインドと行動が大きく変わり、秋の観光や年末商戦、忘年会等、人流は確実に増える。
			家電量販店	夏休みやお盆期間など例年帰省客が増える時期に新型コロナウイルス感染拡大により、帰省客が少なくなったことで売上高や客数に影響があったためです。
			観光型ホテル・旅館	年内のみならず少なくとも来年の前半までは引き続き感染状況に影響を受けると覚悟している。県からの観光客積極受け入れ（もちろん万全な感染予防対策と共に）の広報を要望したい。
			観光名所等	クラスター発生や各宣言が出ると予約がキャンセルになる。
			都市型ホテル	完全には戻らず、想定している収支を守れる状況には届かない。また、マインドが戻っても宴会を避ける風潮や、先送りの傾向が根付いたとも考えられることから。
			商店街	感染が収束するにしても、再流行するにしても、そのことでお客様・取引先の活動が拡大・縮小のどちらかにおいて影響されるため。また、従業員・お客様の健康を守ることに引き続き神経を使うことが必要と考えことから、今後も商品の円滑な入荷に不安を感じている。
			百貨店	感染症の増減が売上や客数に直接響く。
			衣料専門店	コロナ治療薬の早期開発で、行動の自由が政府により宣言されることが最重点です。
			卸売業	人の動き方で影響が変わってくる、感染者数を少なくして、ワクチン接種を終了させ、経済をまわして欲しい。
			美容院	出歩かなくなる事がやはり大きかったと思いますが、場所によって感じ方が異なることはあった。
		津軽	パチンコ	娯楽業なので。
			観光名所等	国内だけでは課題が多い。インバウンド客が動き始めると落ち着いてくる。
			商店街	コロナ変異種が増えているのが非常に不安。ワクチンの有効性もどの位あるのかも非常に不安。

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	家計	津軽	都市型ホテル	当社は宿泊・宴会、レストランを柱としているが、その全てに大打撃を受けている。
			レストラン	感染者が減少しないと、ある程度の集客は見込めないの、このまま少しでも元の生活に戻れる様になると良いですね。
			衣料専門店	結婚式、出張が少なくなったため、スーツが売れない。
			一般小売店	人々は我慢の限界にきており、コロナが収まれば外食や旅行などいっせいにするであろうと思う。そうなれば消費が急増すると思う。
		県南	商店街	安全性が担保されていないのと、全ての人が元の生活がベストと考えていないと感じるから。
			ガソリンスタンド	ワクチン接種の進展はあるが、ブレークスルー感染も報道されているので、今後の感染状況によるものと思われるが、影響は続くものと思っている。
			スナック	少しずつしか戻っていかないと思う。すぐには無理。
			タクシー	国の方では緊急事態宣言解除、まん防解除と言っても市民は誰も信用していない。皆さん「コロナが落ち着くのは何年先かなー」と言っている。とにかく自分の身は自分で守るよりほかはない。安心して街に出て来られるようにならなければ景気は良くならない。まだまだじっと耐えるよりほかはないのか。
			パチンコ	娯楽産業なので、またコロナ感染第6波とか騒ぎになると厳しい。
			衣料専門店	感染者数による外出増減、ワクチン接種進行による外出増減、約1年半に及ぶ外出控えの反動（消費関連）。
			卸売業	変異株などの対応も後手になっているので、治療薬・ワクチンを含めて対応策を考えてほしい。
			レストラン	3回目のワクチン接種や、インフルエンザ流行等、3カ月前もまだまだどうなるかわからない為。よい方に影響がでてほしいと思います。
			一般飲食店	コロナを抑え込む事柄が確立されていない。ワクチンにしても、数字では数パーセントといっているが、現状周りでは中々スムーズに事が運んでいるとはいいいがたい。青森県は色々なアクションが遅すぎる様に感じられる。
		下北	コンビニ	新型コロナの報道について、国、県、市は自粛して下さい。
			都市型ホテル	良い方向で影響が出て欲しいと思っています。
			タクシー	3ヶ月では変わらないと思いますが、ワクチン接種が進んだことで以前より外出される方が増えるのではと思っています。
			スーパー	感染拡大した場合、ショートショッピングの徹底、混雑を避けての午前中の買い物、単独での買い物などの行動がおき、買い物動機が狭まるため。
	企業	東青	経営コンサルタント	新型コロナウイルスの感染状況が急速に落ち着き、緊急事態宣言の全面解除が決まったことで、家計や企業に持ち直しの動きがみられるものの、経済の正常化は新年以降になると思われる。
		津軽	広告・デザイン	今現在もコロナ騒動は終えておらず、これが続く限りは経済も回復せず、しばらくは厳しい状況となるのでは。
		県南	飲料品製造	ワクチンの接種率もあがり、全国的に制限も解除、消費にプラスな動きが見えてきそうな気はしていますが、ブレークスルー感染や第6波などに対しても今まで以上に敏感になっている気がします。そのたびごとにダイレクトに影響は受けると思います。

今後の影響	分野	地区	業種	理由
非常に影響がある	企業	県南	経営コンサルタント	2回目のワクチン接種の拡大と緊急事態宣言の全面解除で、人の移動の抑制や、飲食の制限などの規制が外れると景気は一気に回復するのではないか。今、我慢している分、日本国民の消費活動への欲求はかなりたまっていると感じます。
			建設	これからインフルエンザのシーズンが到来することになり、医療機関で症状の判定がさらに難しくなってくることから、重症化や再拡大のリスクは常に潜在しており、お正月前にまた景気に影響を及ぼすのでは…。もしかしたら今度はインフルエンザウイルスと結合する新たな変異株が出てくるか。
	雇用	東青	新聞社求人広告	ワクチン接種が進んだとはいえ、感染の第6波がきた場合、打撃は大きいと思います。
どちらかといえ ば影響がある	家計	東青	パチンコ	ワクチン接種が済んでも用心して外出を控えると思います。
			旅行代理店	まだまだ心配です。クリスマス・年末年始、飲む機会が増えればコロナ感染者も増える。
			競輪場	コロナの感染状況に左右される可能性が大きい。
			設計事務所	閉塞感と不安感は冬に向かって継続されるので、行動自制がされた中では景気の感触は程遠い彼方。
			住宅建設販売	ウッドショックの影響継続、トイレ、給湯器の納期未定、原材料の値上げ。
			コンビニ	イベントがあることでお客様も増え、ホテル利用客が増えることで変化は見られると思う。
			乗用車販売	海外で作っている部品の輸入量が不安定だと思うし、大幅な生産遅れが出た分の生産がたかが3カ月では元の状態に戻らない状況だと思うから。
		津軽	ガソリンスタンド	完全終息の見通しが立たない中であり、今後の余波も懸念されている状況からもしばらくは影響があると思われる。
			住宅建設販売	首相交代や内閣入替え、新政権になるなど、内政時なことばかりの運用となり、ウッドショック等の解決、改善になる対策をまるで感じない、伝ってこないから。
			家電量販店	感染率と経済活動の制限とのバランスにより、景気の持ち直しの有無が鮮明になる。
			設計事務所	ワクチン接種により幾らか状況は変わって来ているが、治療薬が出ないと安心出来ないのでは?個人的には国産の薬が完成し、市場に出回ることによって「安心、安全」と感じる人が増え、景気も大幅に改善されるのではないかと思います。
		県南	百貨店	コロナと共存できる環境になるよう医療機関や行政の取組が進んでいる。とは言え、3カ月先は年末年始もあるため、第6波が起きると人流は抑制され景気に影響が出てくると思われる。
			設計事務所	経済の形態は元に戻らず、生活スタイルは変わり、コストは上がりつづける。
			コンビニ	ワクチンの11月以降の動向がみえていない。ワクチン以外の対策もみえていない。
			スーパー	内食から外食へとスライドすればマイナス影響になる。

今後の影響	分野	地区	業種	理由
どちらかといえ ば影響がある	家計	県南	美容院	第6波はわかりませんが、今迄の反動で経済が動いて欲しいと思っています。お出かけも増えるのではないかと思います。
			家電量販店	他企業も入る集合店舗のため、近隣で感染者が発生した場合は大きな影響が考えられる。
		下北	一般飲食店	解除になったからと言ってすぐには元にもどらないだろうし、ワクチンを2度接種したから安全とは言えないし、ハッキリと目に見えるものがあれば(安全性など)人の流れも変わって来ると思います。
	企業	東青	建設	コロナの影響は「直接的」なものだけではない事を実感しました。世界的な状況が日本国内の産業に与える影響は自分の力ではどうしようもない場合が多く、対応について苦慮しています。
		津軽	経営コンサルタント	新型コロナウイルスワクチン接種が7割以上進んでいるでしょうし、外出の機会が増えて景気に結びついてほしいと望むが、未だにクラスターが起きているので油断は出来ない。楽観視は難しい。
		県南	広告・デザイン	すでに中止が決まっているイベント等絡みの売上はゼロ(仕事が発生しない)なわけで、宣言解除で人が動くとしても、我々の様なイベント事業は、まだまだ影響がある。
			紙・パルプ製造	緊急事態宣言解除後の各地での人流によるコロナの感染再拡大。
			電気機械製造	ワクチン3回目も1人1人の負担になるし、気持ち的に外出を控える気持ちは続くと思う。特に医療介護の職の方や、家族に病気の方や子供のいる家庭は気の毒です。どうしても景気には響くと思います。
		下北	食料品製造	コロナを意識しないで行動する迄には、まだまだ時間がかかる。
	雇用	東青	人材派遣	ワクチンの追加接種や景気回復の政策などで動きがみられる可能性が高いため。
		津軽	新聞社求人広告	一般にワクチン接種が浸透する一方で、保育施設にクラスターが発生しており今後も予断を許さない。
		県南	新聞社求人広告	ワクチン接種は進むだろうが、感染拡大の第6波が確実にくるとわれるから。
どちらとも言え ない	家計	東青	レストラン	年末までには県内のある程度の人がワクチン接種してると思うので、動きがあるのではと期待したい。
		県南	観光名所等	第6波がやって来るとのことなので、予想がわからない。
	企業	東青	広告・デザイン	第6波の影響次第。
		津軽	建設	冬以降、第6波が必ずくると思う。皆さんの協力が大切です。
			食料品製造	このまま、クラスターの発生がない事を祈るのみです。
	雇用	津軽	人材派遣	今後感染者増加の第6波が再来するかもしれないという恐怖感から、この状況はまだしばらく続くと思う。今後数ヶ月を注視したい。
どちらかといえ ば影響がない	家計	津軽	美容院	3カ月前はまだ第6波の波が始まっておらず、人流が最大限に活発になっている。
		下北	ガソリンスタンド	2回目の接種が終わり、以前とまではいかないと思いますが、飲み会が増えていくと思われます。